

2026 年度

大学院入学試験要項

(外国人留学生)

経済学研究科経済学専攻

博士課程前期課程

博士課程後期課程

目 次

| | |
|----------|---|
| 個人情報について | 1 |
|----------|---|

一般選抜（前期課程・後期課程）

| | |
|-----------|---|
| 1 募集人員 | 2 |
| 2 入学試験日程 | 2 |
| 3 入学試験科目 | 3 |
| 4 入学試験時間割 | 4 |
| 5 入学試験会場 | 4 |
| 6 出願資格 | 5 |
| 7 出願手続 | 6 |
| 8 提出書類 | 7 |

社会人特別選抜（前期課程）

| | |
|-----------|----|
| 1 募集人員 | 10 |
| 2 入学試験日程 | 10 |
| 3 入学試験科目 | 10 |
| 4 入学試験時間割 | 10 |
| 5 入学試験会場 | 11 |
| 6 出願資格 | 11 |
| 7 選考方法 | 12 |
| 8 出願手続 | 12 |
| 9 提出書類 | 12 |

共通項目

| | |
|-----------|----|
| 1 入学検定料 | 15 |
| 2 合格発表 | 15 |
| 3 入学手続 | 16 |
| 4 学費・諸納付金 | 16 |

| | |
|------------|----|
| 5 授業料減免制度 | 17 |
| 6 長期履修学生制度 | 17 |

経済学研究科経済学専攻授業科目

| | |
|-----------------|----|
| ・博士課程〔前期課程〕授業科目 | 18 |
| ・博士課程〔後期課程〕授業科目 | 20 |

広島経済大学（試験場）案内図

学内案内図

別添書類

- (1) 入学願書（前期課程出願用）
- (2) 入学願書（後期課程出願用）
- (3) 調査書（前期課程出願用）
- (4) 調査書（後期課程出願用）
- (5) ㊶整理票、㊷受験票、
- (6) 検定料振込依頼票
- (7) 検定料納入証明書貼付票
- (8) 推薦状
- (9) 研究計画書
- (10) 研究指導受入内諾書（国外受験者出願用）
- (11) 履歴書
- (12) 長期履修学生申請書
- (13) 出願用封筒宛名用紙

はじめに

広島経済大学では、アジアを中心に多くの留学生を受け入れています。講義はすべて日本語で行なわれるため、十分な日本語能力が必要です。特に大学院では入学試験、入学後の講義、研究等、専門的な知識と共に日本語能力が不可欠であることから、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）による日本留学試験の日本語の科目において、260点以上の得点を取得、または独立行政法人国際交流基金及び日本国際教育支援協会による日本語能力試験のN1を取得していることが出願資格の一つとなっています。

この要項は、大学院経済学研究科経済学専攻博士課程の「外国人留学生大学院一般選抜（前期課程・後期課程）」「外国人留学生大学院社会人特別選抜（前期課程）」の入学試験要項です。

出願から入学手続完了までの必要事項を記載していますので、記入漏れ及び書き間違いのないよう注意してください。

個人情報について

出願にあたって、お知らせいただく個人情報につきましては、以下の目的以外には使用いたしません。

- 1 入学試験運営
- 2 各種送付物（受験票・合否通知・入学手続書類等）の送付
- 3 入学手続に関すること
- 4 各種統計・調査
- 5 その他、入学試験に関すること

また、入学後は教育目的等で使用します。詳しくは、入学手続書類でお知らせいたします。

なお、広島経済大学個人情報保護方針は以下のとおりです。

学校法人石田学園広島経済大学 個人情報保護方針

学校法人石田学園広島経済大学（以下「本学」という。）は、個人の人権を尊重する立場から、以下のとおり個人情報保護方針を定め、個人情報の保護に努めます。

1. 本学は、個人情報保護に関する法令及びその他の規範を遵守します。また、学校法人石田学園広島経済大学個人情報保護規程を定め、個人情報の保護方針を着実に実行し、維持するとともに継続的な改善に努めます。
2. 本学は、個人情報保護に関する管理体制を確立するとともに、学校法人石田学園広島経済大学個人情報保護規程を教職員及びその他の関係者に周知し、その遵守徹底に努めます。
3. 本学は、個人情報を個人情報の主体である本人（以下「本人」という。）に明示、通知又は公表した利用目的の範囲内で取り扱います。また、本学は、個人情報を本人の同意がある場合又は正当な理由がある場合を除き、第三者に開示又は提供しません。
4. 本学は、個人データを正確かつ最新の状態に保つとともに、個人データへの不正アクセス、紛失、破壊、改ざん及び漏えい等の予防に努めます。
5. 本学は、本人からの情報開示及び訂正等の申し出には、合理的な期間及び妥当な範囲において誠実かつ迅速に対応します。

この件に関するお問い合わせは、総務部総務課（082-871-1000）までご連絡ください。

2026年度 一般選抜（前期課程・後期課程）入学試験要項

1 募集人員

| 研究科/専攻 | 課程 / コース | | 募集人員 |
|-----------------|--------------|-------------|-----------------------------------|
| 経済学研究科 経済学専攻 | 博士課程前期課程（修士） | 研究者養成コース ※1 | 10名 (社会人特別選抜、海外指定校推薦、日本人学生を含む) |
| | | 経済学専修コース | |
| | 博士課程後期課程（博士） | 研究者養成コース | 3名 (日本人学生を含む) |

※1 研究者養成コースはⅡ期のみ実施。ただし、国外受験者に関しては、Ⅰ期日程に合わせて実施。

2 入学試験日程

【国内受験者】 ※2

| 区分 | 課程 | コース | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 | 手続締切日 |
|----|----------|----------------------|---|-------------------------------|----------------------------|--------------------|
| Ⅰ期 | 博士課程前期課程 | 経済学専修コース | 2025年 7月11日(金) ～7月25日(金) 締切日消印有効 | 2025年 9月3日(水) 9月4日(木) | 2025年 9月12日(金) 午前10時 | 2025年 10月17日(金) |
| Ⅱ期 | 博士課程前期課程 | 研究者養成コース 経済学専修コース | 2026年 1月4日(日) ～1月16日(金) 締切日消印有効 | 2026年 2月24日(火) 2月25日(水) | 2026年 3月6日(金) 午前10時 | 2026年 3月19日(木) |
| | 博士課程後期課程 | 研究者養成コース | | 2026年 2月24日(火) | | |

※2 国内受験者とは、日本国以外の国籍を有し、現に日本国内に在住している者で、本学で実施する入学試験を受験できる者。

【国外受験者】 ※3

| 区分 | 課程 | コース | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 | 手続締切日 |
|----|----------|----------------------|---|------------------|----------------------------|--------------------|
| Ⅰ期 | 博士課程前期課程 | 研究者養成コース 経済学専修コース | 2025年 7月11日(金) ～7月25日(金) 締切日消印有効 | 2025年 9月3日(水) | 2025年 9月12日(金) 午前10時 | 2025年 10月17日(金) |
| | 後期課程 | 研究者養成コース | | | | |

※3 国外受験者とは、日本国以外の国籍を有し、現に日本国以外の国に在住している者。

3 入学試験科目

【国内受験者】

| 課程 | コース | 試験科目 |
|--------------|--------------------------|---|
| 博士課程 前期課程 | 研究者養成コース (Ⅱ期のみ実施) | 1.書類選考(調査書等) 2.筆答試験 外国語科目=日本語 ※辞書持ち込み不可。 専門科目=下表の7部門から出願の際登録した2部門を選択し受験する。 3.口述試験(30分程度)=日本語もしくは英語で実施。提出書類に記載されている内容を中心に質問する。 |
| | 経済学専修コース | 1.書類選考(調査書等) 2.筆答試験 外国語科目=日本語 ※辞書持ち込み不可。 専門科目=下表の7部門から出願の際登録した1部門を選択し受験する。 3.口述試験(30分程度)=日本語もしくは英語で実施。提出書類に記載されている内容を中心に質問する。 |
| | | 部 門 |
| | | 理論経済学部門、経済史部門、経済政策部門、財政学・金融論部門、統計学部門、経営学部門、地域研究部門 の7部門 |

| 課程 | コース | 試験科目 |
|--------------|----------|--|
| 博士課程 後期課程 | 研究者養成コース | 1.書類選考(調査書等) 2.筆答試験 第1外国語=日本語 ※辞書持ち込み不可。 第2外国語=英語(日本人・外国人留学生共通) ※辞書の持ち込みを認める。(電子辞書も可) 3.口述試験=修士論文、研究計画に記載されている内容を中心に質問する。 |

※ただし、「英語」の受験については、TOEFL iBT95点以上、TOEICテスト公式認定証またはIPテストのL&Rが945点以上の場合、免除することができます。TOEIC-IPテストについては、広島経済大学において実施したものに限りです。

【国外受験者】

| 課程 | 試験科目 |
|----------------------|--------|
| 博士課程前期課程 博士課程後期課程 | 書類選考のみ |

4 入学試験時間割

【国内受験者のみ】

| 区分 | 課程/コース | 試験日 | 試験科目 | | 時間割 |
|-----|-------------------------------------|------------------------|-------------------|----------|-------------------------|
| I期 | 博士課程 前期課程 (経済学専修コース) | 2025年 9月3日(水) | 筆答試験 | 外国語科目 | 10:00~11:30 |
| | | | | 専門科目 | 12:30~14:30 |
| | | 口述試験 (受験者多数の場合のみ実施) | | 15:00~ | |
| | | 2025年 9月4日(木) | 口述試験 | | 10:00~ |
| II期 | 博士課程 前期課程 (研究者養成コース 経済学専修コース) | 2026年 2月24日(火) | 筆答試験 | 外国語科目 | 10:00~11:30 |
| | | | | 専門科目 | 研究者養成コース 12:30~15:30 |
| | | | | 経済学専修コース | 12:30~14:30 |
| | | 口述試験 (受験者多数の場合のみ実施) | | ※15:30~ | |
| | | | 2026年 2月25日(水) | 口述試験 | |
| | 博士課程 後期課程 (研究者養成コース) | 2026年 2月24日(火) | 筆答試験 | 第1外国語 | 10:00~11:30 |
| | | | | 第2外国語 | 12:30~14:00 |
| | | | 口述試験 | | 14:50~ |

【受験上の注意】

- ①入試当日は、午前9時45分までに入試広報センター（本館2階）に集合してください。
- ②受験票は必ず持参してください。（忘れた場合は、当日入試広報センターへ申し出てください。）
- ③試験開始後30分を経過すると受験できません。
- ④不正行為をした者には退場を命じ、全科目を無効とします。
- ⑤本学の売店（セブンイレブン）で軽食を販売しています。
- ⑥入試当日は、駐車場を利用することができませんので、公共交通機関や本学のスクールバス（JR可部線下祇園駅の近くから運行）を利用してください。

5 入学試験会場

【国内受験者のみ】

| 区分 | 試験場 |
|-----|-----------------------------|
| I期 | 広島経済大学 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号 |
| II期 | |

6 出願資格

外国人留学生として本学の大学院博士課程前期課程又は博士課程後期課程を受験できるのは、外国国籍及び下記に定める日本語能力を有し、かつ次の各課程のいずれか一つの基準に該当する者とする。

日本語能力

独立行政法人日本学生支援機構による日本留学試験の日本語の科目において260点以上の得点を取得した者、又は独立行政法人国際交流基金及び財団法人日本国際教育支援協会が実施している日本語能力試験N1(旧：1級)に合格した者。

- ※ 日本留学試験の成績については、**2024年度及び2025年度実施のもの**を利用可能とします。
- ※ 「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」は、**2024年以降に実施された試験**で、入学試験日前日までに取得したものを利用可能とします。
- ※ 国費外国人留学生及びそれに準ずる者と学長が認めた者は、日本留学試験(日本語能力の証明)を免除します。
- ※ 日本語能力試験N1の合格に準ずる日本語能力を有すると学長が認めた者は、日本留学試験(日本語能力の証明)を免除します。(免除を希望する者は、出願に先立ち事前資格審査が必要となりますので、願書受付開始日の1か月前までに国際教育交流センターに連絡してください。)

1. 博士課程 前期課程

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、又は**2026年3月までに卒業見込み**の者。
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は**2026年3月までに授与される見込み**の者。
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は**2026年3月までに修了見込み**の者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は**2026年3月までに修了見込み**の者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は**2026年3月までに修了見込み**の者。
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって学校教育法施行規則第155条第1項第4号の規定により指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は**2026年3月までに授与される見込み**の者。
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることと、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、又は**2026年3月までに修了見込み**の者。
- (8) 文部科学大臣の指定した者。(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者させる本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの、及び**2026年3月31日までに22歳に達するもの**。

- 上記出願資格の(9)(10)に該当する場合は、出願に先立ち事前資格審査が必要となりますので、願書受付開始日の1か月前までに国際教育交流センターに連絡してください。

2. 博士課程 後期課程

- (1) 修士の学位を有する者、又は**2026**年3月までに取得見込みの者。
- (2) 専門職大学院の課程を修了し、文部科学大臣の定める学位を有する者、又は**2026**年3月までに取得見込みの者。
- (3) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は**2026**年3月までに授与される見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は**2026**年3月までに授与される見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、又は**2026**年3月までに授与される見込みの者。
- (6) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、又は**2026**年3月までに授与される見込みの者。
- (7) 外国の学校、学校教育法施行規則第156条第3号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同程度の学力があると認められた者、又は**2026**年3月までに認められる見込みの者。
- (8) 文部科学大臣の指定した者。（平成元年文部省告示第118号）
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同程度の学力があると認めた者で、24歳に達した者、及び**2026**年3月31日までに24歳に達する者。

- 上記出願資格の(9)に該当する場合は、出願に先立ち事前資格審査が必要となりますので、願書受付開始日の1か月前までに国際教育交流センターに連絡してください。

【留意事項1】

- (1) 前期課程Ⅰ期に経済学専修コースをに合格した者も、前期課程Ⅱ期の研究者養成コースを受験することができます。
 - ・前期課程Ⅱ期の研究者養成コースに合格した場合、Ⅰ期合格時の納入金は、研究者養成コースの納付金に充当することができます。
 - ・研究者養成コースの試験が不合格の場合、Ⅰ期の合格は取り消しません。
- (2) 前期課程研究者養成コースに入学した者は、前期課程に配当された単位（学位〔修士〕論文を含む）を修得後、無試験で後期課程に進学することができます。

【留意事項2】

国外において本学を受験しようとする者（国外受験者）は、出願前に受入を希望する教員と連絡を取り、研究指導の内諾を得ること。

7 出願手続

| 出 願 先 |
|--|
| 広島経済大学 国際教育交流センター 〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号 |

★お問い合わせ先 082-871-1002（直通）受付時間 8:45～17:30（土・日・祝祭日は休業）

注）一度受け付けた提出書類及び入学検定料は一切返還しません。

8 提出書類

①入学願書……**本学所定のもの**

- ・必ず本人が、日本語でていねいに記入してください。
- ・願書裏面の記入上の注意をよく読んで、正確に記入してください。

②調査書…… **本学所定のもの**

注1) 最終出身学校が発行し、厳封されたものを提出してください。但し、次の注意事項(注2)に記してある日本語の訳文を添付する場合は、原本が厳封されていなくても可とします。

(本学学生及び卒業生は、事前に学務センター教務課へ相談してください。)

注2) 調査書は、原則として日本語又は英語のものとしします。それ以外の言語の場合には、日本語の訳文を添付してください。訳文には、その訳文が正しいものであるという証明を大使館等の公的機関又は在籍している若しくは卒業した日本語学校で受けてください。

③A 整理票、B 受験票……**本学所定のもの**

- ・A整理票、B受験票に必要な事項を記入してください。
- ・最近3か月以内に撮影した鮮明な写真(縦4cm×横3cm、上半身、正面脱帽、無背景のもので、写真の裏に氏名を記入)をA票の所定の位置に貼付してください。

④検定料納入証明書貼付票……**本学所定のもの**

- ・C検定料振込依頼書、D検定料領収書、E検定料証明書に必要な事項を記入した上で、金融機関の窓口に入学金検定料とともに持参し、C・D・Eの各書類に必ず「取扱銀行収納印」を押印してもらってください。
- ・「検定料納入証明書貼付票」に必要な事項を記入し、E検定料証明書を所定の位置に貼付してください。

⑤最終出身学校の成績証明書(コピー不可)

注1) 証明書は、最終出身学校が発行し、厳封されたものを提出してください。

但し、次の注意事項(注3)に記してある日本語の訳文を添付する場合は、原本が厳封されていなくても可とします。

注2) 証明書は、原則として各学年ごとの成績が記載されているものを提出してください。

注3) 証明書は、原則として日本語又は英語のものとしします。それ以外の言語の場合には、日本語の訳文を添付してください。訳文には、その訳文が正しいものであるという証明を大使館等の公的機関又は在籍している若しくは卒業した日本語学校で受けてください。

⑥最終出身学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書(コピー不可)

注1) 証明書は、最終出身学校が発行し、厳封されたものを提出してください。

但し、次の注意事項(注2)に記してある日本語の訳文を添付する場合は、原本が厳封されていなくても可とします。

注2) 証明書は、原則として日本語又は英語のものとしします。それ以外の言語の場合には、日本語の訳文を添付してください。訳文には、その訳文が正しいものであるという証明を大使館等の公的機関又は在籍している若しくは卒業した日本語学校で受けてください。

注3) 大学評価・学位授与機構において学位を授与された者は「学位授与証明書」、学位を授与される見込みの者は「学位授与申請受理証明書」を提出してください。

⑦日本留学試験（日本語）の受験票の写し、又は日本語能力試験N1(旧：1級)の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）

- 注1) 日本留学試験の成績は、**2024年度及び2025年度実施のもの**を利用可能とします。
- 注2) 「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」は、**2024年以降に実施された試験**で、入学試験日前日までに取得したものを利用可能とします。
- 注3) 国費外国人留学生及びそれに準ずる者と学長が認めた者、又は日本語能力試験N1の合格に準ずる日本語能力を有すると学長が認めた者は提出不要です。

⑧学位〔学士〕論文の写し

- 注1) 国外受験者で前期課程を希望する者のみ提出してください。但し、最終出身学校で学士論文を作成していない者は提出不要です。
- 注2) 学位〔学士〕論文が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、日本語による要旨を添付してください。

⑨学位〔修士〕論文の写し※

- 注) 後期課程受験者のみ提出してください。本学博士課程前期課程修了見込みの者については、提出済みの修士論文を代用します。

⑩学位〔修士〕論文の要旨を記載した書類※ ……本学所定の調査書に記載****

- 注) 後期課程受験者のみ提出してください。

⑪副論文※

- 注1) 博士課程前期課程の修了者においては、修士論文のほか研究成果を示す業績がある場合は、これを副論文として提出することができます。
- 注2) 副論文又はそれに替える研究成果業績書は、原則として日本語又は英語のものとし、それ以外の言語の場合には、日本語の訳文（副論文の場合は要旨で可）を添付してください。

※(9)～(11)共通

ただし、大学院設置基準第16条の2に規定する「博士論文研究基礎力審査」に合格し、修士号を得た者は、審査に関する資料を提出してください。

【例】当該審査の合格の基準

⑫推薦状……本学所定のもの****

- 注1) 前期課程受験者は学位〔学士〕論文指導教員が作成し厳封されたものを、また、後期課程受験者は学位〔修士〕論文指導教授が作成し厳封されたものをそれぞれ提出してください。但し、最終出身学校で学位〔学士〕論文又は学位〔修士〕論文を作成していない者は、所属機関の長又は専門分野における大学教授の資格を有する者により作成、厳封されたものを提出してください。但し、次の注意事項（注2）に記してある日本語の訳文を添付する場合は、原本が厳封されていなくても可とします。
- 注2) 推薦状は、原則として日本語又は英語のものとし、それ以外の言語の場合には、日本語の訳文を添付してください。訳文には、その訳文が正しいものであるという証明を大使館等の公的機関又は在籍している若しくは卒業した日本語学校で受けてください。
- 注3) 本学学部卒業又は卒業見込みの者及び本学大学院博士課程前期課程修了又は修了見込みの者については、提出不要です。

⑬研究計画書……本学所定のもの****

- 注1) 研究計画を日本語で詳細に記入してください。

⑭研究指導受入内諾書……**本学所定のもの**

注) 国外受験者のみ提出してください。必ず出願前に受入指導教員から承諾を得た後、提出してください。

⑮履歴書……**本学所定のもの**

注1) 小学校から現在までの学歴を記入してください。

注2) 最近3か月以内に撮影した鮮明な写真(縦4cm×横3cm、上半身、正面脱帽、無背景のもので、写真の裏に課程種別、氏名を記入)を所定の位置に貼付してください。

⑯健康診断書

注1) 下記項目が記載された**2025**年3月以降に診断されたものに限りです。

① 氏名、② 生年月日、③ 性別、④ 身長・体重、⑤ 視力、⑥ 胸部エックス線検査、⑦ 医師の所見

注2) 健康診断書は、原則として日本語又は英語のものとしします。それ以外の言語の場合には、日本語の訳文を添付してください。訳文には、その訳文が正しいものであるという証明を大使館等の公的機関又は在籍している若しくは卒業した日本語学校で受けてください。

⑰住民票記載事項証明書又は住民票

注1) 居住地の市役所又は区役所で、3か月以内に発行されたものに限りです。

注2) 氏名、住所、生年月日、性別、国籍、在留カード番号、在留資格、在留期間等及び在留期間等の満了の日が明記されたものを提出してください。

注3) 国内受験者のみ提出してください。

注4) 住民票を提出する場合は、必ずマイナンバーの記載のないものを提出してください。

(本学では、マイナンバーが記載された書類は受理できません。)

⑱パスポートの写し

注) 記載のあるページ全てを提出してください。

⑲在職証明書

注1) 現在在職中の場合のみ提出してください。

注2) 在職証明書は、原則として日本語又は英語のものとしします。それ以外の言語の場合には、日本語の訳文を添付してください。訳文には、その訳文が正しいものであるという証明を大使館等の公的機関又は在籍している若しくは卒業した日本語学校で受けてください。

⑳長期履修学生申請書……**本学所定のもの**

注) 長期履修学生として修学を希望する者のみ提出してください。長期履修学生制度については、**17**ページを読んでください。

㉑TOEIC等のスコアの写し

注) 「外国語科目=英語」の受験の免除を希望する者のみ提出してください。

ただし、スコアの有効期限は、出願締切日から起算し、過去2年以内のものに限りです。

【注】提出書類に虚偽の記載があった場合には、受験を取り消します。また、合格した後虚偽の記載が判明した場合においても、入学資格を取り消します。

【注】中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の公証・認証手続きは、大使館・領事館ではなく、中国国内の教育部學歷認證センター(北京市)又は各地方の公証処(各地方の司法局に認定された機関)において行われます。(教育部學歷認證センターは、郵便による海外からの認証手続きの申請も受け付けています。)日本国内において、同センター等に公証を依頼する中国出身の方は、出願書類の準備により多くの時間がかかることが予想されますので、早めに手続きを開始するようにして下さい。

2026年度 社会人特別選抜（前期課程）入学試験要項

1 募集人員

| 研究科/専攻 | 課程 / コース | | 募集人員 |
|-------------|--------------|----------|-------------------|
| 経済学研究科経済学専攻 | 博士課程前期課程（修士） | 経済学専修コース | 若干名 （日本人学生を含む） |

2 入学試験日程

| 区分 | 課程 | コース | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 | 手続締切日 |
|------|--------------|----------|---|-------------------|----------------------------|--------------------|
| I 期 | 博士課程 前期課程 | 経済学専修コース | 2025年 7月11日(金) ～7月25日(金) 締切日消印有効 | 2025年 9月4日(木) | 2025年 9月12日(金) 午前10時 | 2025年 10月17日(金) |
| II 期 | 博士課程 前期課程 | 経済学専修コース | 2026年 1月4日(日) ～1月16日(金) 締切日消印有効 | 2026年 2月25日(水) | 2026年 3月6日(金) 午前10時 | 2026年 3月19日(木) |

3 入学試験科目

| 課程 | コース | 試験科目 |
|--------------|----------|---|
| 博士課程 前期課程 | 経済学専修コース | 1.書類選考（調査書等） 2.口述試験（45分程度）＝提出書類に記載されている内容を 中心に質問する。 |

4 入学試験時間割

| 区分 | 課程/コース | 試験日 | 試験科目 | 時間割 |
|------|-------------------------|---------------------------|------|--------|
| I 期 | 博士課程 前期課程 (経済学専修コース) | 2025年 9月4日(木) | 口述試験 | 10:00～ |
| II 期 | | 2026年 2月25日(水) | 口述試験 | 10:00～ |

【受験上の注意】

- ①入試当日は、午前9時45分までに入試広報センター（本館2階）に集合してください。
- ②受験票は必ず持参してください。（忘れた場合は、当日入試広報センターへ申し出てください。）
- ③試験開始後30分を経過すると受験できませんので遅刻しないよう注意してください。
- ④不正行為をした者には退場を命じ、全科目を無効とします。
- ⑤本学の売店（セブンイレブン）で軽食を販売しています。
- ⑥入試当日は、駐車場を利用することができませんので、公共交通機関や本学のスクールバス（JR可部線下祇園駅の近くから運行）を利用してください。

5 入学試験会場

| 区分 | 試験場 |
|------|-----------------------------|
| I 期 | 広島経済大学 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号 |
| II 期 | |

6 出願資格

入学予定時において現に日本国内に在住し、外国国籍及び下記に定める日本語能力を有する者で、かつ次の各号のいずれか一つの基準に該当し、3年以上の就業経験[※]のあるもの。

又は、入学予定時において現に日本国内に在住し、外国国籍及び下記に定める日本語能力を有する者で、かつ学士の学位取得後5年以上経たもの。

※就業経験とは、職業（自営業含む）に従事している人（正規雇用及び臨時雇用）や、家事、育児、介護等に携わる者を言う。

日本語能力

独立行政法人日本学生支援機構による日本留学試験の日本語の科目において260点以上の得点を取得した者、又は独立行政法人国際交流基金及び財団法人日本国際教育支援協会が実施している日本語能力試験N1（旧：1級）に合格した者。

※日本留学試験の成績については、**2024年度及び2025年度実施のもの**を利用可能とします。

※「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」は、**2023年以降に実施された試験**で、入学試験日前日までに取得したものを利用可能とします。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、又は**2026年3月**までに卒業見込みの者。
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は**2026年3月**までに授与される見込みの者。
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は**2026年3月**までに修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は**2026年3月**までに修了見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は**2026年3月**までに修了見込みの者。
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって学校教育法施行規則第155条第1項第4号の規定により指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は**2026年3月**までに授与される見込みの者。
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、又は**2026年3月**までに修了見込みの者。
- (8) 文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。

(10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したものと、及び**2026**年3月31日までに22歳に達するもの。

- 上記出願資格の(9) (10)に該当する場合は、出願に先立ち事前資格審査が必要となりますので、願書受付開始日の1か月前までに国際教育交流センターに連絡してください。

7 選考方法

選考は自薦書、研究計画書の内容確認に基づく口述試験及び調査書を総合し、大学院での教育を受ける能力と研究意欲、入学後の研究計画性を確認して判定します。

8 出願手続

| 出 願 先 |
|--|
| 広島経済大学 国際教育交流センター 〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号 |

★お問い合わせ先 082-871-1002 (直通) 受付時間 8:45~17:30 (土・日・祝祭日は休業)

注) 一度受け付けた提出書類及び入学検定料は一切返還しません。

9 提出書類

①入学願書……**本学所定のもの**

- ・必ず本人が、日本語でていねいに記入してください。
- ・願書裏面の記入上の注意をよく読んで、正確に記入してください。

②調査書…… **本学所定のもの**

注1) 最終出身学校が発行し、厳封されたものを提出してください。但し、次の注意事項(注2)に記してある日本語の訳文を添付する場合は、原本が厳封されていなくても可とします。
(本学学生及び卒業生は、事前に学務センター教務課へ相談してください。)

注2) 調査書は、原則として日本語又は英語のものとし、それ以外の言語の場合には、日本語の訳文を添付してください。訳文には、その訳文が正しいものであるという証明を大使館等の公的機関又は在籍している若しくは卒業した日本語学校で受けてください。

③A 整理票、B 受験票……**本学所定のもの**

- ・A整理票、B受験票に必要な事項を記入してください。
- ・最近3か月以内に撮影した鮮明な写真(縦4cm×横3cm、上半身、正面脱帽、無背景のもので、写真の裏に氏名を記入)をA票の所定の位置に貼付してください。

④検定料納入証明書貼付票……**本学所定のもの**

- ・C検定料振込依頼書、D検定料領収書、E検定料証明書に必要な事項を記入した上で、金融機関の窓口に入学金検定料とともに持参し、C・D・Eの各書類に必ず「取扱銀行収納印」を押印してもらってください。
- ・「検定料納入証明書貼付票」に必要な事項を記入し、E検定料証明書を所定の位置に貼付してください。

⑤最終出身学校の成績証明書（コピー不可）

- 注1) 証明書は、最終出身学校が発行し、厳封されたものを提出してください。
- 注2) 証明書は、原則として各学年ごとの成績が記載されているものを提出してください。
- 注3) 証明書は、原則として日本語又は英語のものとし、それ以外の言語の場合には、日本語の訳文を添付してください。訳文には、その訳文が正しいものであるという証明を大使館等の公的機関又は在籍している若しくは卒業した日本語学校で受けてください。

⑥最終出身学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書（コピー不可）

- 注1) 証明書は、最終出身学校が発行し、厳封されたものを提出してください。
- 注2) 証明書は、原則として日本語又は英語のものとし、それ以外の言語の場合には、日本語の訳文を添付してください。訳文には、その訳文が正しいものであるという証明を大使館等の公的機関又は在籍している若しくは卒業した日本語学校で受けてください。
- 注3) 大学評価・学位授与機構において学位を授与された者は「学位授与証明書」、学位を授与される見込みの者は「学位授与申請受理証明書」を提出してください。

⑦日本留学試験（日本語）の受験票の写し、又は日本語能力試験N1(旧：1級)の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）

- 注1) 日本留学試験の成績は、**2024年度及び2025年度実施のもの**を利用可能とします。
- 注2) 「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」は、**2024年以降に実施された試験で、入学試験日前日までに取得したもの**を利用可能とします。

⑧自薦書

- 注1) 800字程度で受験動機を詳しく記入してください。（パソコンで作成してください。）
- 注2) 自薦書は、原則として日本語のものとし、

⑨研究計画書……本学所定のもの

- 注) 研究計画を日本語で詳細に記入してください。

⑩履歴書……本学所定のもの

- 注1) 小学校から現在までの学歴を記入してください。
- 注2) 最近3か月以内に撮影した鮮明な写真（縦4cm×横3cm、上半身、正面脱帽、無背景のもので、写真の裏に課程種別、氏名を記入）を所定の位置に貼付してください。

⑪健康診断書

- 注1) 下記項目が記載された**2025年3月以降に診断されたもの**に限ります。
- ① 氏名、② 生年月日、③ 性別、④ 身長・体重、⑤ 視力、⑥ 胸部エックス線検査、⑦ 医師の所見
- 注2) 健康診断書は、原則として日本語又は英語のものとし、それ以外の言語の場合には、日本語の訳文を添付してください。訳文には、その訳文が正しいものであるという証明を大使館等の公的機関又は在籍している若しくは卒業した日本語学校で受けてください。

⑫住民票記載事項証明書又は住民票

- 注1) 居住地の市役所又は区役所で、3か月以内に発行されたものに限ります。
- 注2) 氏名、住所、生年月日、性別、国籍、在留カード番号、在留資格、在留期間等及び在留期間等の満了の日が明記されたものを提出してください。
- 注3) 国内受験者のみ提出してください。
- 注4) 住民票を提出する場合は、必ずマイナンバーの記載のないものを提出してください。（本学では、マイナンバーが記載された書類は受理できません。）

⑬パスポートの写し

注) 記載のあるページ全てを提出してください。

⑭在職証明書

注1) 現在在職中の場合のみ提出してください。

注2) 在職証明書は、原則として日本語又は英語のものとしします。それ以外の言語の場合には、日本語の訳文を添付してください。訳文には、その訳文が正しいものであるという証明を大使館等の公的機関又は在籍している若しくは卒業した日本語学校で受けてください。

⑮長期履修学生申請書……**本学所定のもの**

注) 長期履修学生として修学を希望する者のみ提出してください。長期履修学生制度については、**17**ページを読んでください。

【注】提出書類に虚偽の記載があった場合には、受験を取り消します。また、合格した後虚偽の記載が判明した場合においても、入学資格を取り消します。

【注】中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の公証・認証手続きは、大使館・領事館ではなく、中国国内の教育部学籍認証センター（北京市）又は各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において行われます。（教育部学籍認証センターは、郵便による海外からの認証手続きの申請も受け付けています。）日本国内において、同センター等に公証を依頼する中国出身の方は、出願書類の準備により多くの時間がかかることが予想されますので、早めに手続きを開始するようにして下さい。

共通項目

1 入学検定料

1. 入学検定料： 30,000円
2. 支払方法：

| | |
|-------|--|
| 国内受験者 | 所定の振込用紙で最寄りの金融機関から、期限内に振り込んでください。 |
| 国外受験者 | <p>本学が指定する下記銀行口座に、円建てで送金してください。海外送金が証明できる書類（コピー）を出願書類とともに提出してください。送金手数料は本人負担とします。</p> <p>・送金方法</p> <p>銀行窓口で、日本で発生する手数料を支払うことを、下記の英文の内容で伝えてください。</p> <p>Beneficiary Bank : MOMIJI BANK, LTD. SWIFT BIC : HRSBJPJT Branch Name : HEAD OFFICE Beneficiary Name : ISHIDAGAKUEN Beneficiary Address : 5-37-1 Gion, Asaminami-ku, Hiroshima City Japan Branch Code : 002 Beneficiary Account Number : 1487719 Beneficiary Account Address : 1-24, EBISU-CHO, NAKA-KU, HIROSHIMA, 730-0021, JAPAN</p> |

(注1) 入学検定料は、本学の窓口や郵送による納付は受け付けません。

(注2) 納入された検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

2 合格発表

| 試験区分 | 合格発表日 |
|-----------|--------------------|
| 国外受験・国内Ⅰ期 | 2025年9月12日（金）午前10時 |
| 国内Ⅱ期 | 2026年3月6日（金）午前10時 |

本学のホームページから合否の確認が可能です。アドレスは、<http://www.hue.ac.jp>です。また、受験者全員に合否結果を発送します。合格者には、あわせて入学手続書類を送付します。

3 入学手続

| 試験区分 | 入学手続締切日 |
|-----------|-------------------------|
| 国外受験・国内Ⅰ期 | 2025年10月17日(金)【締切日消印有効】 |
| 国内Ⅱ期 | 2026年3月19日(木)【締切日消印有効】 |

1. 合格者は所定の学費・諸納付金の納付、及びその他の諸手続を指定の期日までに完了しなければなりません。期日を過ぎると入学資格を取り消します。
2. 学費・諸納付金は、所定の振込用紙で最寄りの金融機関から振り込んでください。本学の窓口や郵送による納付は受け付けません。
3. 最終手続まで完了した者が、**2026年3月31日(火)**までに所定の入学辞退届を提出した場合、入学金を除く、授業料、施設費、諸納付金を返還します。
4. 官公庁、その他会社などに在職中の者は、入学承諾書(様式任意)を提出してください。

4 学費・諸納付金

1. 博士課程 前期課程

(単位：円)

| 内 訳 | | 納付金・期限 | 初年度納付金 合 計 | 納 付 金 | |
|------|--------|--------|---------------|---------|---------|
| | | | | 前 期 | 後 期 |
| 学費 | 入学金 | | 250,000 | 250,000 | |
| | 授業料 | | 340,000 | 170,000 | 170,000 |
| | 施設費 | | 100,000 | 50,000 | 50,000 |
| 諸納付金 | 学会費 | | 1,000 | 1,000 | |
| | 院生協議会費 | | 10,000 | 10,000 | |
| 合 計 | | | 701,000 | 481,000 | 220,000 |

2. 博士課程 後期課程

(単位：円)

| 内 訳 | | 納付金・期限 | 初年度納付金 合 計 | 納 付 金 | |
|------|--------|--------|---------------|---------|---------|
| | | | | 前 期 | 後 期 |
| 学費 | 入学金 | | 250,000 | 250,000 | |
| | 授業料 | | 340,000 | 170,000 | 170,000 |
| | 施設費 | | 100,000 | 50,000 | 50,000 |
| 諸納付金 | 学会費 | | 1,000 | 1,000 | |
| | 院生協議会費 | | 10,000 | 10,000 | |
| 合 計 | | | 701,000 | 481,000 | 220,000 |

注) 以下に該当する者は、本人の申請に基づき、審査の上、入学金の減額を行います。

- ① 本学学部から大学院前期課程又は本学大学院前期課程から後期課程に入学し、その各々の在籍が継続している場合は、それぞれ入学金を免除します。各々の在籍が継続していない場合は入学金を2分の1に減額します。
- ② 本学研究生から大学院に入学し、各々の在籍が継続している場合は入学金を2分の1に減額します。

5 授業料減免制度

1. 本学は、経済的理由により修学が困難な外国人留学生を対象とした授業料減免制度を設けています。
2026年度本学外国人留学生大学院入学試験に合格し、「留学」の在留資格をもつ者には、審査を経て入学初年度の学費・諸納付金のうち授業料340,000円を50%減免することがあります。
2. 授業料減免手続については以下のとおりです。

| 試験区分 | 授業料減免申請書類配布 | 授業料減免申請書類 提出締切日（締切日必着） |
|------|----------------------|---------------------------|
| 国外受験 | 受験番号通知とともに授業料減免申請書送付 | 2025年9月4日（木） |
| 国内Ⅰ期 | 受験番号通知とともに授業料減免申請書送付 | 2025年9月4日（木） |
| 国内Ⅱ期 | 受験番号通知とともに授業料減免申請書送付 | 2026年2月25日（水） |

3. 結果は、本学で審査のうえ、本人宛に通知します。

6 長期履修学生制度

この制度は、職業（自営業含む）に従事している人（正規雇用及び臨時雇用）や、家事、育児、介護等の事情がある人を支援する目的で設けられており、大学院の標準修業年限（博士課程前期課程は2年、博士課程後期課程は3年）を超えて、長期にわたり（博士課程前期課程では4年まで、博士課程後期課程では6年まで）計画的に履修できる制度です。この制度を利用すれば、ゆったりとしたペースで授業を受けることができ、授業料、施設費については学費総額を、許可された修業年限で分割して納入することができます。

なお、この制度を希望する場合は、別途書類の「長期履修学生申請書」に必要事項を記入の上、出願書類とともに出願期間内に提出してください。申請に基づき選考を行い、許可された者に対しては、各選抜入学試験の合格発表時に合格通知書と一緒に「長期履修学生許可書」を同封し通知いたします。

注) 長期履修制度による在籍を根拠とする在留資格（留学ビザ）は取得できません。不明な点は事前に「広島経済大学 国際教育交流センター」までお問合せください。

経済学研究科経済学専攻博士課程〔前期課程〕授業科目

《研究者養成コース・経済学専修コース》

下表は、2025年度に開講されている授業科目です。2026年度については、授業担当者の変更等が生じる可能性がありますので、出願前にお問い合わせください。

- 〔注〕 1. 研究指導Bは、研究者養成コースのみの授業科目です。
 2. 「*」のある授業担当者は、担当年度に限りがあります。（予定含む）
 3. 特設科目の「所得税法特論」「法人税法特論」「消費税法特論」「会計監査論特論」は、経済学専修コースのみの授業科目です。

| 部門 | 授業科目 | 単位 | 履修区分 | 開講区分 | 授業担当者 | | 研究指導 | 備考 (履修条件) |
|-------------|-------------|----|------|------|--------|--------|------|--------------|
| 基礎科目 | ミクロ経済学 | 4 | | 通年 | 教授 | 堀江 真由美 | / | |
| | マクロ経済学 | 4 | | 通年 | 非常勤 | 山根 智少子 | | |
| | データ分析入門 | 4 | | 通年 | 教授 | 得津 康義 | | |
| | 外書講読（英語） | 4 | | 通年 | 教授 | 小笠原 礼以 | | |
| | 外書講読（ドイツ語） | 4 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | 外書講読（フランス語） | 4 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| 理論経済学 | 理論経済学特論Ⅰ | 2 | | 前 | 教授 | 堀江 真由美 | ○ | |
| | 理論経済学特論Ⅱ | 2 | | 集中 | 非常勤 | 山根 智少子 | | |
| | 計量経済学特論 | 2 | | 後 | 教授 | 得津 康義 | ○ | |
| | 数理経済学特論 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | 国際経済学特論 | 2 | | 前 | 教授 | 小笠原 礼以 | ○ | |
| | 経済学史特論Ⅰ | 2 | | 前 | 非常勤講師 | 林 直樹 | | |
| 経済史 | 経済学史特論Ⅱ | 2 | | 後 | 非常勤講師 | 林 直樹 | | |
| | 西洋経済史特論Ⅰ | 2 | | 前 | 教授 | 竹林 栄治 | | |
| | 西洋経済史特論Ⅱ | 2 | | 後 | 教授 | 竹林 栄治 | | |
| | 東洋経済史特論Ⅰ | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | 東洋経済史特論Ⅱ | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | 日本経済史特論Ⅰ | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| 経済政策 | 日本経済史特論Ⅱ | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | 経済政策論特論 | 2 | | 前 | 教授 | 野北 晴子 | ○ | |
| | 商業経済論特論 | 2 | | 後 | 教授 | 細井 謙一 | ○ | |
| | 国際貿易論特論Ⅰ | 2 | | 前 | 教授 | 広田 堅志 | ○ | |
| | 国際貿易論特論Ⅱ | 2 | | 後 | 教授 | 広田 堅志 | | |
| | 労働経済学特論 | 2 | | 前 | 非常勤講師 | 岡村 和明 | | |
| 財政学・金融論 | 財政学特論 | 2 | | 前 | 教授 | 一橋 信之 | | |
| | 金融論特論 | 2 | | 後 | 非常勤講師 | 西脇 廣治 | | |
| | 国際金融論特論 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | ファイナンス特論 | 2 | | 前 | 教授 | 重本 洋一 | ○ | |
| | 租税制度論特論 | 2 | | 前 | 准教授 | 福田 正太郎 | ○ | |
| | 経済法特論 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| 統計学 | 経済統計学特論 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | 統計学特論 | 2 | | 前 | 教授 | 得津 康義 | | |
| 経営学 | 経営管理論特論 | 2 | | 前 | 教授 | 瀬戸 正則 | | |
| | 人的資源論特論 | 2 | | 後 | 教授 | 瀬戸 正則 | ○ | |
| | 経営史特論 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | 国際経営論特論 | 2 | | 前 | 教授 | 松川 佳洋 | ○ | |
| | 経営情報論特論 | 2 | | 前 | 准教授 | 石野 亜耶 | | |
| | 経営科学特論 | 2 | | 後 | 教授 | 丹羽 啓一 | ○ | |
| | 管理会計論特論 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| 地域研究 | 財務会計論特論 | 2 | | 後 | 非常勤講師 | 松浦 良行 | | |
| | 開発経済論特論Ⅰ | 2 | | 前 | 教授 | 平本 賢了 | ○ | |
| | 開発経済論特論Ⅱ | 2 | | 後 | 教授 | 平本 賢了 | | |
| | 地域研究特論Ⅰ | 2 | | 集中 | 非常勤講師 | 由井 義通 | | |
| | 地域研究特論Ⅱ | 2 | | 集中 | 非常勤講師 | 由井 義通 | | |
| | 国際経済交流論特論Ⅰ | 2 | | 前 | 教授 | 楊 義申 | ○ | |
| | 国際経済交流論特論Ⅱ | 2 | | 後 | 教授 | 楊 義申 | | |
| | 環境・資源情報論特論Ⅰ | 2 | | 前 | 教授 | 田中 章司郎 | ○ | |
| 環境・資源情報論特論Ⅱ | 2 | | 後 | 教授 | 田中 章司郎 | | | |

| 部門 | 授業科目 | 単 位 | 履修 区分 | 開講 区分 | 授業担当者 | | 研究 指導 | 備考 (履修条件) |
|----------|------------|--------|----------|----------|-------|--------|--------------|--------------|
| | | | | | | | | |
| 研究 指導 | 研究指導A I | 4 | ◎ | 通年 | 教授 | 堀江 真由美 | | |
| | | | | | 教授 | 得津 康義 | | |
| | | | | | 教授 | 小笠原 礼以 | | |
| | | | | | 教授 | 竹林 栄治 | | |
| | | | | | 教授 | 野北 晴子 | | |
| | | | | | 教授 | 細井 謙一 | | |
| | | | | | 教授 | 広田 堅志 | | |
| | | | | | 教授 | 一橋 信之 | | |
| | | | | | 教授 | 重本 洋一 | | |
| | | | | | 教授 | 瀬戸 正則 | | |
| | | | | | 教授 | 松川 佳洋 | | |
| | | | | | 教授 | 丹羽 啓一 | | |
| | | | | | 教授 | 平本 賢了 | | |
| | | | | | 教授 | 楊 義申 | | |
| | 教授 | 田中 章司郎 | | | | | | |
| | 准教授 | 福田 正太郎 | | | | | | |
| | 研究指導A II | 4 | ◎ | 通年 | 教授 | 堀江 真由美 | | |
| | | | | | 教授 | 得津 康義 | | |
| | | | | | 教授 | 小笠原 礼以 | | |
| | | | | | 教授 | 竹林 栄治 | | |
| | | | | | 教授 | 野北 晴子 | | |
| | | | | | 教授 | 細井 謙一 | | |
| | | | | | 教授 | 広田 堅志 | | |
| | | | | | 教授 | 一橋 信之 | | |
| | | | | | 教授 | 重本 洋一 | | |
| | | | | | 教授 | 瀬戸 正則 | | |
| 教授 | | | | | 松川 佳洋 | | | |
| 教授 | | | | | 丹羽 啓一 | | | |
| 教授 | | | | | 平本 賢了 | | | |
| 教授 | | | | | 楊 義申 | | | |
| 教授 | 田中 章司郎 | | | | | | | |
| 准教授 | 福田 正太郎 | | | | | | | |
| 研究 指導 | 研究指導B | 4 | ◎ | 通年 | 教授 | 堀江 真由美 | | |
| | | | | | 教授 | 得津 康義 | | |
| | | | | | 教授 | 小笠原 礼以 | | |
| | | | | | 教授 | 竹林 栄治 | | |
| | | | | | 教授 | 野北 晴子 | | |
| | | | | | 教授 | 細井 謙一 | | |
| | | | | | 教授 | 広田 堅志 | | |
| | | | | | 教授 | 一橋 信之 | | |
| | | | | | 教授 | 重本 洋一 | | |
| | | | | | 教授 | 瀬戸 正則 | | |
| | | | | | 教授 | 松川 佳洋 | | |
| | | | | | 教授 | 丹羽 啓一 | | |
| | | | | | 教授 | 平本 賢了 | | |
| | | | | | 教授 | 楊 義申 | | |
| 教授 | 田中 章司郎 | | | | | | | |
| 准教授 | 福田 正太郎 | | | | | | | |
| 特設 科目 | 経済学特殊講義特論 | 2 | | | | | 2025年度 開講せず | |
| | 所得税法特論 | 4 | | 通年 | 准教授 | 福田 正太郎 | | |
| | 法人税法特論 | 4 | | 通年 | 准教授 | 福田 正太郎 | | |
| | 消費税法特殊講義特論 | 2 | | 後 | 非常勤講師 | 田邊 宣彦 | | |
| | 会計監査論特論 | 4 | | | | | 2025年度 開講せず | |
| | 法学特殊講義特論 | 2 | | 前 | 非常勤講師 | 尾山 慎太郎 | | |
| | 社会認識教育学特論A | 2 | | 前 | 教授 | 胤森 裕暢 | ※修了要件単位に含まない | |
| | 社会認識教育学特論B | 2 | | 後 | 教授 | 胤森 裕暢 | ※修了要件単位に含まない | |

経済学研究科経済学専攻博士課程〔後期課程〕授業科目

《研究者養成コース》

下表は、2025年度に開講されている授業科目です。2026年度については、授業担当者の変更等が生じる可能性がありますので、出願前にお問い合わせください。

〔注〕 1. 「*」のある授業担当者は、担当年度に限りがあります。（予定含む）

| 部門 | 授業科目 | 単位 | 履修区分 | 開講区分 | 授業担当者 | | 研究指導 | 備考 (履修条件) |
|---------|---|----|-----------|------|-------|--------|------|--------------|
| 理論経済学 | 理論経済学特殊研究Ⅰ | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | 理論経済学特殊研究Ⅱ | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | 計量経済学特殊研究 | 2 | | 後 | 教授 | 得津 康義 | ○ | |
| | 数理経済学特殊研究 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | 国際経済学特殊研究 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | 経済学史特殊研究 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| 経済史 | 西洋経済史特殊研究 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | 日本経済史特殊研究 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| 経済政策 | 経済政策論特殊研究 | 2 | | 後 | 教授 | 野北 晴子 | ○ | |
| | 商業経済論特殊研究 | 2 | | 前 | 教授 | 細井 謙一 | ○ | |
| | 中国貿易論特殊研究 | 2 | | 前 | 教授 | 広田 堅志 | ○ | |
| | 労働経済学特殊研究 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| 財政学・金融論 | 財政学特殊研究 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | 金融論特殊研究 | 2 | | 前 | 非常勤講師 | 西脇 廣治 | | |
| | 国際金融論特殊研究 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | ファイナンス特殊研究 | 2 | | 前 | 教授 | 重本 洋一 | ○ | |
| 統計学 | 経済統計学特殊研究 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| 経営学 | 経営管理論特殊研究 | 2 | | | | | | 2025年度 開講せず |
| | 人的資源論特殊研究 | 2 | | 前 | 教授 | 瀬戸 正則 | ○ | |
| | 経営情報論特殊研究 | 2 | | 前 | 教授 | 丹羽 啓一 | | |
| 地域研究 | 地域研究特殊研究 | 2 | | 前 | 教授 | 平本 賢了 | | |
| | 国際経済交流論特殊研究 | 2 | | 後 | 教授 | 楊 義申 | | |
| | Special Studies on Environment and Resource Informatics | 2 | | 後 | 教授 | 田中 章司郎 | ○ | 英語による授業科目 |
| 研究指導 | 研究指導 Research Guidance | 24 | ◎ | 通年 | 教授 | 得津 康義 | | |
| | | | | | 教授 | 野北 晴子 | | |
| | | | | | 教授 | 細井 謙一 | | |
| | | | | | 教授 | 広田 堅志 | | |
| | | | | | 教授 | 重本 洋一 | | |
| | | | | | 教授 | 瀬戸 正則 | | |
| | | | | | 教授 | 丹羽 啓一 | | |
| 教授 | 田中 章司郎 | | 英語による授業科目 | | | | | |

広島経済大学案内図

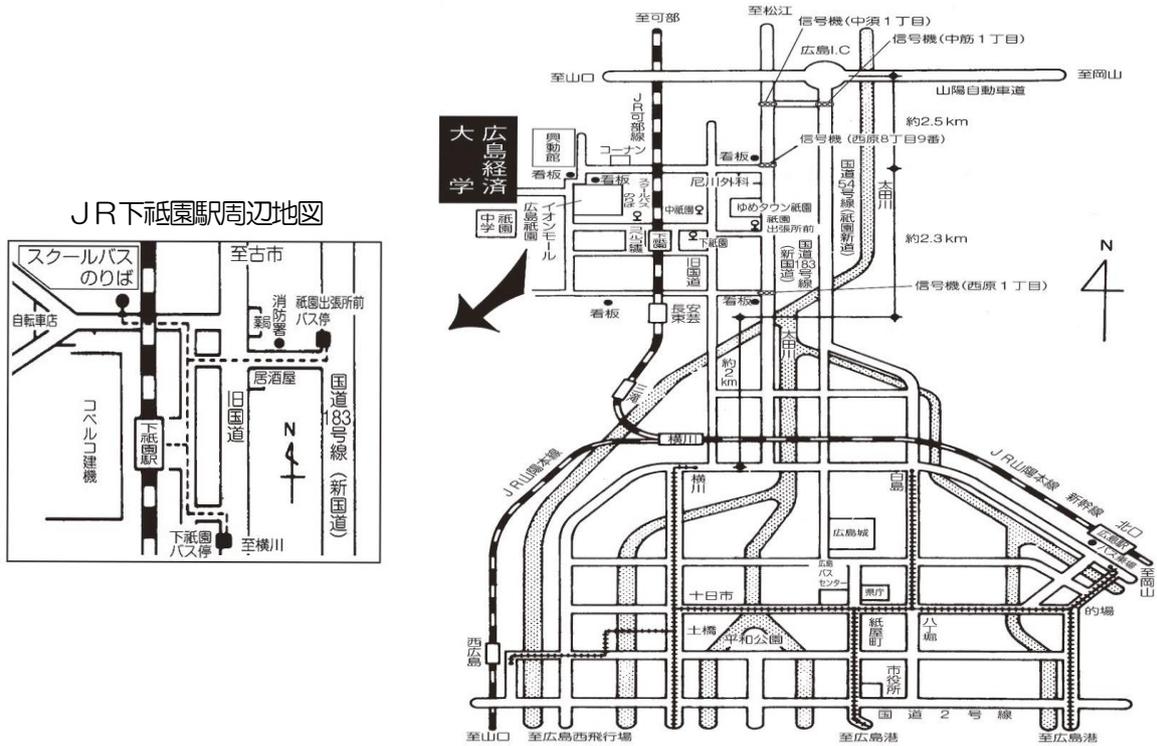
試験場 広島経済大学

広島市安佐南区祇園五丁目37番1号 TEL 082-871-1313 (入試広報センター)

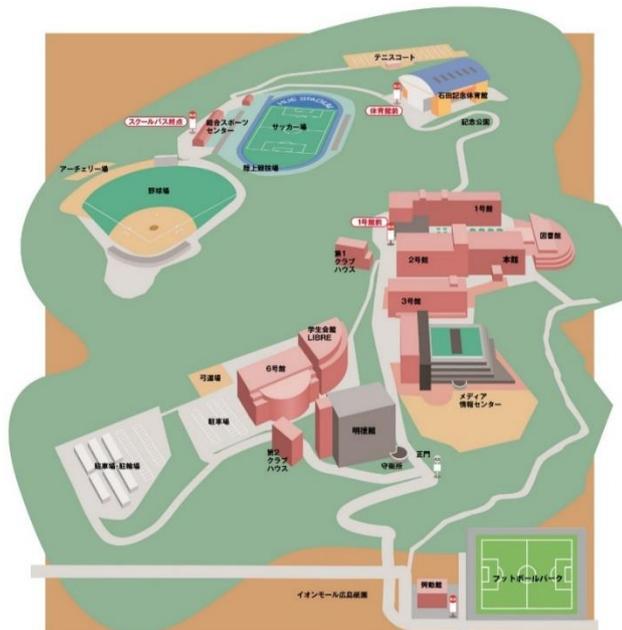
★本学までの交通機関

JR可部線下祇園駅にて下車。下図を参考にスクールバスを利用してください。

(本学まではスクールバスで5分、徒歩では20分です。)



学内案内図



受付：入試広報センター（本館2階）

広島経済大学

大学院経済学研究科経済学専攻博士課程
(前期課程・後期課程)

〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目 37 番 1 号
5-37-1 Gion, Asaminami-ku, Hiroshima City Japan
TEL+81(0)82-871-1002 FAX+81(0)82-871-1021

国際教育交流センター

URL <http://www.hue.ac.jp/>
E-mail int-admissions@hue.ac.jp